

■ 小 櫻 銀 次

(前後篇十二卷)

帝キネ 芦屋時代映畫

脚色者

偉志廻 山人氏

監督者

唐澤 弘光氏

撮影者

二宮 義曉氏

主演者

松本 田三郎氏

紹介者

第二百四十二號

(批評省略)

興行價值——連続映畫にすべきものではない。相變らず帝キネ式講談映畫である。でも小櫻銀次(但し呂九平の「蜘蛛」に於る小櫻銀二とは關係ない)の俠氣振りには甘い客は涙を流して居た。(前篇十月廿二日 神戸相生座 京都キネマ倶楽部 同廿三日大阪声邊劇場 いろは座 後篇七月廿八日 神戸相生座 京都キネマ倶楽部 同廿九日 大阪声邊劇場 いろは座 封切)